



「くらしとごみ」

吹田市立 青山台小学校

★単元目標

- ごみなどの廃棄物は、人々の生活から日常的に排出されていることを知り、ごみの処理や再利用の仕組み、人々の工夫や努力について理解するとともに、見学や具体的資料から必要な情報を集め、整理することができる。【知識・技能】
- ごみの処理や再利用について調べたことを関連付けて考え、ごみ処理事業の役割や課題を見いだし、自分の考えを表現することができる。【思考・判断・表現】
- ごみに関わる課題について問いをもち、主体的に学習に取り組むとともに、学習したことを自分たちの生活に生かそうとする態度を養う。【学びに向かう力】

育みたい情報活用能力

情報を選択・比較・整理・分析し、課題を見い出して問いを設定し、
自分の考えを表現・共有する力

本時の目標

資料を関連付けて読み取り、ごみの課題について問いを設定することができる。

実態からわかること

- ・身近な生活や地域への関心が高く、体験と結び付けて主体的に学習に取り組める。
- ・話を聞く・伝えることに課題があり、協働的な学びを深めるための支援が必要である。
- ・情報機器の活用には個人差があり、操作に不安のある児童への個別・協働の支援が必要である。

子どもの実態

① 児童は、学校生活や地域の出来事に関心を持ち、自分の体験や既存の知識と結び付けながら、主体的に学習に取り組む。

②話を聞く・伝えることに苦手な児童もあり、協力して話し合いを進めるための支援が必要である。

③情報機器の操作に不安のある児童もあり、個別や協働での支援が必要である。

★使用するツールやコンテンツ等

- ・教科書：わたしたちのまち 吹田・大阪（吹田市教育委員会）【情報収集】
- ・MetaMoJi Classroom3【整理分析】【まとめ・ふりかえり】
- ・インターネット【情報収集】
- ・ノート・付箋【整理分析・視覚支援の手立て】

★単元計画（全 19 時間）

	学習内容	主な評価規準【観点】
第1・2時	学習課題を知り、エージェンシートを作成する ・学習課題について、教科書を元に、予想したり調べる計画を立てたりする。	学習課題について予想をもち、自分が調べたいことを考え、学習の見通しを持っている。 【思考・判断・表現】
第3・4時	わたしたちのくらしで、毎日どのくらいゴミが出ているのかを知る ・ゴミ調べの準備をする ・ゴミ調べで得た情報を整理・比較し、自分たちのくらしとの関わりを考える。	ゴミの排出量や種類について調べ、必要な情報を整理している。 【知識・技能】
第5時	分別したゴミはどこへ行くのかを調べる。 ・吹田市の12種分別表をもとに、燃えるゴミ・資源ゴミ・大型ゴミがそれぞれ何処へ・どうやって運ばれるのかを、必要な情報を選択しながら調べ、整理する。	ゴミの分別や収集について、必要な情報を選択し整理している。 【知識・技能】
第6時 (本時)	「くらしとゴミ」の学習における、自分の問いを見つける。 ・複数のごみに関する資料を読み取り、関連付けながら、自分が調べたい問い(wonder)を見つけ、具体化する。	複数の資料を比較・関連付けながら、自分が調べたい問いを見だし、問いを具体化している。 【思考・判断・表現】
第7・8時	ゴミの運搬の方法と、働く人の努力や工夫について知る。 ・パッカー車を見学し、働く人の話を聞く。 ・収集の工夫を具体的に理解する。 ・パッカー車見学からわかったことをまとめる。	見学や話から必要な情報を収集し、ゴミ収集の工夫について理解している。 【知識・技能】
第9～11時	ゴミがどのように処理されるのかを知り、まとめる ・燃えるゴミ・資源ゴミ・大型ゴミが、それぞれどのように処理されるのかを、社会見学・教科書・本・インターネットを使って調べ、まとめる。	複数の資料や見学で得た情報を関連付け、ゴミ処理の仕組みや働く人々の工夫について考えをまとめている。 【思考・判断・表現】
第12時	再利用されないゴミがあることを捉え、どこへ行くのかを捉える。 ・最終処分場(埋立地)について、教科書・本・インターネットで調べ、まとめる。	複数の資料や見学で得た情報を関連付け、ゴミ処理の仕組みや働く人々の工夫について考えをまとめている。 【思考・判断・表現】
第13時	くるくるプラザで取り組んでいる、ゴミを減らすための工夫や努力をまとめる。 ・社会見学・体験学習・教科書から、わかったことをまとめる。	複数の資料や見学で得た情報を関連付け、ゴミ処理の仕組みや働く人々の工夫について考えをまとめている。 【思考・判断・表現】
第14時	ゴミと私たちのくらしのつながりを知る ・ゴミが増え続けるとどうなるのかを捉える。 ・学習で得た情報を基に、自分にできる行動を考える。	学習したことをもとに、自分の生活との関わりを考え、今後の行動について見直そうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】
第15～18時	パフォーマンス課題作成 ・伝えたい相手・発表内容・方法を決める。 ・考えを整理し表現する。	必要な情報を整理し、相手に伝わるように工夫して表現している。 【思考・判断・表現】
第19時	発表・振り返り・学びを生活に生かす	学習を振り返り、自分の生活に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

★本時の展開（ 6 / 12 時間）

学習の流れ	主な学習活動と内容（子どもの反応）	支援や情報活用のポイント ☆：情報活用能力のポイント
導入(5分)	複数の資料を見て、驚いたこと・初めて知ったこと・気になったことを書く。	ゴミについての資料をプロジェクターに提示・MetaMoJi 配布。
展開 (30分)	資料からゴミについて考える。 ごみ処理にかかる費用 焼却炉の耐用年数 海洋プラスチック50年問題 吹田市のごみについて 思考ツール(ピラミッドチャート)をつかい考えを整理する。	【整理分析】 思考ツールを活用してまとめさせる（紹介する） 操作の早い児童に困っている子とペアで教えさせる（操作は本人がするように徹底）
まとめ (10分)	問いを書く。 「ごみを減らすにはどうすればいいだろう。」 「お金をかけずにごみを処理するにはどうすればいいだろう。」 「焼却炉に頼らない方法はあるのだろうか。」 「海洋プラスチックごみをなくすには何が必要なのだろう。」 「私たちにできることは何だろう。」 問いを、共有する。	【まとめ・ふりかえり】 文字入力が間に合わない子は、 ①MetaMoJiの「録音機能」を使って、自分の口で「わかったこと」を録音して提出。 ②MetaMoJiの手書き→変換を使って、提出。 ③手書きで提出